

The 43rd
TOKYO
MOTOR SHOW
2013

SMART MOBILITY CITY 2013 NEWSLETTER

vol. 6
2013.11.27

第43回東京モーターショー2013 主催者テーマ事業

SMART MOBILITY CITY 2013

クルマとエネルギー まちや住まいとつながるクルマ



18世紀のイギリス。発明されたばかりの自動車のエネルギー源は、石炭(蒸気機関)、電気、ガスなどが中心でした。その後19世紀の大油田の発見やガソリン、ディーゼルエンジンの発明を経て、20世紀初頭、ついにガソリンなどの石油燃料と内燃機関を用いた現代のクルマ時代が到来します。そして、クルマは、生活へ浸透し、経済や生活に大きな豊かさをもたらしました。

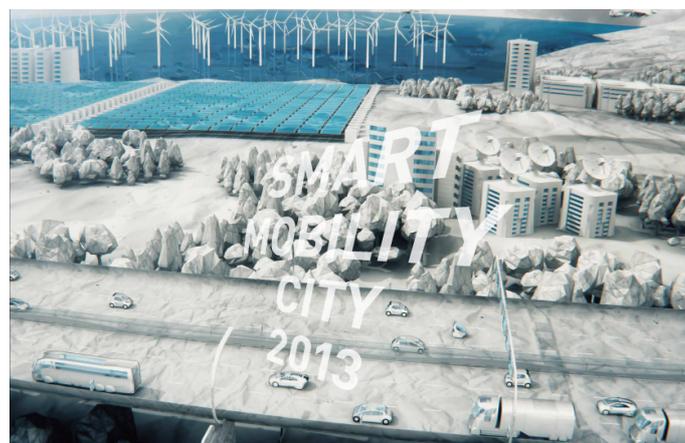
しかし、その後の石油ショックなどを経て、石油資源が有限であることや、排出されるCO2が地球温暖化に大きな影響を与えることが、世界的な問題となりました。また、我々は、東日本大震災を経験し、一つのエネルギー源に頼る社会インフラが非常に脆弱であることを認識するようになりました。

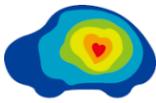
近年では、省エネルギーと環境問題、そしてエネルギー源多様化の要請に応える観点から、分散型で地産地消型のエネルギーシステムの構築や、まちや住まいのエネルギーマネジメント(HEMS、BEMS)の導入などが浸透しつつあります。また、風力発電や太陽光など多様な再生可能エネルギーの活用と、電気、水素や天然ガスなどを含めたエネルギー源の多様化が進んでいます。

クルマについても、省エネ技術の進化によりエコカーが当たり前のもので家庭に普及しました。さらに、抜本的な省エネとエネルギー源の多様化を実現するこれからのエコカーとして、電気をエネルギー源とする電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、水素をエネルギー源とした燃料電池自動車などが次々に登場しています。

これからのクルマは、まちや住まいの新たなエネルギーシステムとつながることで、ライフスタイルやまちの仕組みに大きな変化をもたらします。再生可能エネルギーなどとして作られた電気をクルマに蓄え、クルマのエネルギー源や住まいの電力として効率的に使うことで、快適なエコライフが実現します。また、災害時や停電時に、まちや住まいの電力供給源として生活・社会インフラを支えることで、私たちを不安から守ってくれるでしょう。

これまで普段何気なく使ってきたクルマとそのエネルギーは、大きな変化の時を迎えようとしています。まちや住まいとエネルギーで繋がっているクルマ、そして変化する私たちの未来の暮らしを、「KURUMA NETWORKING~くらしに、社会に、つながるクルマたち~」をテーマに展開する「SMART MOBILITY CITY 2013」で体験してみてください。





The 43rd
TOKYO
MOTOR SHOW
2013

SMART MOBILITY CITY 2013 NEWSLETTER

COLUMN

クルマと未来のスローライフ



菊池仁志

Hitoshi Kikuchi/Pietro

1946年、東京生まれ。

慶應義塾大学卒業後、大手広告代理店に勤務。1997年に独立、以後エッセイストおよび画家として活躍。文章は菊池仁志、絵はピエトロの名で知られる。

絵と文で多くの雑誌に連載、「鉄は旨い！」など著書多数。軽井沢日動画廊、東京會館ギャラリーなどで個展を開催。日本で初めてダッチ・オーヴンを紹介、“鉄なべおじさん”とも呼ばれ、ジャパン・ダッチ・オーヴン・ソサエティ(www.jdos.com)の会長を務める。

イヤー、今日も、暑いですね。ここ数年の猛烈な暑さに、この夏もかわり映えしない挨拶が、僕が通うジムでとびかっていた。でも、ここは涼しいから助かりますよね。さて、運動するか。

漕いでいる自転車越しに、メンバーがトレッドミルで走り、エクササイズで汗をかいている。プログラムを一通りこなし、サウナで汗を流すと生き返った様な爽やかな気分になった。

地下の駐車場へ下りると、借りているハイブリッドカーが駐まっている。アクセルを踏んで発進させても、僕が20年以上乗り続けているクルマのように、賑やかな音をたてたりはしない。

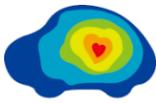
カーブの先の下り坂が渋滞していた。ブレーキを踏むと、目の前のモニターがCHG、回生ブレーキで充電していること示している。その時、自分の中の捉えどころのないモヤモヤが胸にすんと落ちた。

エアコンで温度を下げ、その中で一生懸命に運動をして汗をかく。考えてみると、矛盾している。僕らがジムで放出するエネルギーを回生することが出来たら。トレッドミルや自転車が発電し、その電気でジムのより快適な環境にすることが出来るのでは。

車も同じ仕掛けにしたらどうだろう。エンジンやタイヤは云うまでもなく、運転するドライバーからの発熱、車体の空気抵抗、振動などあらゆるエネルギーを回収し、車を駆動させる電気へと回生させる。

ドライブから帰ってくると、電気がたっぷりたまっていた。スマートハウス仕様の自分の家だけでは使い切れないので、余った分は売電する。走っているだけでエネルギーを生産する。賢すぎるのが気になるが、クルマもそうした時代へと向かって行くのだろう。

(菊池仁志)



The 43rd
TOKYO
MOTOR SHOW
2013

SMART MOBILITY CITY 2013 NEWSLETTER

会場内プログラム 「クルマとエネルギー」

【カンファレンス】

国際シンポジウム「未来社会と未来の移動」

クルマが社会、まち、人と“つながる”と、私たちの暮らしは一体どうなっていくのか？ 未来のクルマは私たち社会・都市・生活をどのように変革していくのか？《未来社会と未来の移動》について、技術的視点のもとより社会的視点・文化的視点など、多様な視点から議論し、その具体的方向性を探ります。

第1部は、MITメディアラボ所長の伊藤穰一氏をお迎えし、「イノベーション、ネットワークそしてクルマの未来」をテーマに今後の社会・都市・生活の進化の方向性について基調講演を頂戴します。その後、伊藤穰一氏と日本自動車工業会モーターショー特別委員会委員長（日産自動車常務執行役員・チーフクリエイティブオフィサー）中村史郎氏による対談、「未来社会と未来の移動」を実施いたします。

第2部は、第1部の議論を受け、国際的な物理学者である佐治晴夫氏が「旅する意味＝人間と移動・・・その進化と未来」というテーマでキーノートスピーチを行います。その後、明日の移動体を研究・開発する自動車メーカーの諸氏によるパネルディスカッション「未来のクルマをデザインする！」を実施します。

【開催日時】11月28日（木）11:00～16:30

【開催場所】会議棟7階 国際会議場

【登壇者】伊藤 穰一氏 MITメディアラボ所長

中村 史郎

日産自動車常務執行役員、チーフクリエイティブオフィサー(CCO)

日本自動車工業会モーターショー特別委員会委員長

佐治 晴夫氏

理学博士、鈴鹿短期大学 名誉学長

西田 善太氏

「ブルータス」編集長

楠田 久氏

トヨタ自動車

二見 徹氏

日産自動車

山藤 靖之氏

本田技術研究所

【特別協力】トヨタ自動車

【テストライド】

充電インフラ、EV・PHV体験会（主催：一般社団法人次世代自動車振興センター）

【開催期間】11月27日（水）～12月1日（日） 5日間 10:30～16:00

【開催場所】屋上展示場（屋外）

【エキシビション】

①SMCツアーズ

既実現しつつある、または実証実験段階にある技術やサービスから10年くらい先、そしてさらにその将来の夢を体感いただける企画として、クルマ型のミニシアターに乗り込んで、明日のクルマや暮らしがあるスマートモビリティシティの様々な世界を探訪する「SMC TOURS」をコア展示で実施します。

「つながると安全」「つながると快適」「つながると楽しい」「つながると安心」「つながるとスマート」「つながると自由」、クルマが社会とつながって、もっとみんなの生活が楽しく、豊かなものになる様子をご覧ください。

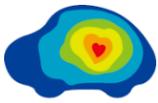
②出展者展示ゾーン

出展者各社のブースでもクルマの動力システムの多様化と、それによって生まれるクルマと街や家との「新しい」つながる世界をご覧ください。

情報発信に関する取材・お問い合わせ窓口
東京モーターショー SMART MOBILITY CITY 2013 広報事務局
担当：河原潤子 smc2013-pr@motor-show.jp

電話：03-3309-8951 FAX：03-3309-8952 携帯：090-1036-8060

SMC各項目の詳しい内容は、今後もニュースレターでお知らせ致します。
更新情報の配信をご希望の方は smc2013-pr@motor-show.jp まで、ご連絡下さい。



The 43rd
TOKYO
MOTOR SHOW
2013

SMART MOBILITY CITY 2013 NEWSLETTER

実施プログラム一覧

【コア展示】

SMC TOURS

エキシビションエリアの中心で主催者が展開する「コア展示」では、既実現しつつある、または実証実験段階にある技術やサービスから10年くらい先、そしてさらにその将来の夢を体感いただける企画として、クルマ型のミニシアターに乗り込んで、明日のクルマや暮らしがあるスマートモビリティシティの様々な世界を探索する「SMC TOURS」を実施する。また、壁面ではそれらの全体像がわかる巨大なマップにより、次世代自動車とそれを取り巻く社会システムを、より深く、より分かりやすく展示する。

○コンテンツ一覧

- I つながると安全
- II つながると快適
- III つながると楽しい
- IV つながると安心
- V つながるとスマート
- VI つながると自由

会場 西4ホール

期間 2013年11月22日(金)～12月1日(日)

【テストライド】

SMC試乗会 体感！スマート・ドライビング

- (1) 「パーソナルモビリティ体験走行」
会場 西4ホール コア展示内
期間 2013年11月22日(金)～12月1日(日)
- (2) 「超小型モビリティ体験走行」
会場 西4ホール コア展示内及びトラックヤード
期間 2013年11月22日(金)～12月1日(日)
- (3) 「電動二輪車試乗会」
会場 西4ホール トラックヤード
期間 2013年11月22日(金)～12月1日(日)
- (4) 「高度運転支援システム試乗走行」
会場 屋上展示場
期間 2013年11月22日(金)～11月26日(火)
- (5) 「自動運転デモンストレーション」
会場 屋上展示場
期間 2013年11月25日(月)～11月26日(火)
- (6) 「充電インフラ、EV・PHV体験会」
主催 一般社団法人次世代自動車振興センター
会場 屋上展示場
期間 2013年11月27日(水)～12月1日(日)



【カンファレンス】

国際シンポジウム

自動運転をはじめとした先端技術の開発動向や、明日の社会とその移動の可能性について、国内外のクルマメーカー・IT企業、および世界第一線の知識人による講演とセッション。

「安全・安心へ、つながるクルマ～高度運転支援システムの可能性～」

会場 会議棟6F 605-608会議室

日時 2013年11月25日(月)10:30～16:50

「未来社会と未来の移動」

会場 会議棟7F 国際会議室

日時 2013年11月28日(木)11:00～16:30

(特別協力 トヨタ自動車株式会社)

「次世代モビリティがもたらす未来の暮らし」

午前の部:超小型モビリティデザインコンテスト表彰式

共催 電気自動車普及協議会・読売新聞社

午後の部:シンポジウム「次世代モビリティがもたらす未来の暮らし」

共催 国土交通省・読売新聞社

会場 会議棟6F

日時 2013年11月24日(日)10:30～16:00

アドバンス・テクノロジー・セミナー

経済産業省 資源エネルギー庁

「燃料電池セミナー in 東京」

会場 会議棟6F 605・606会議室

日時 11月28日(木)13:30～16:40

キッズ・ワークショップ

次代を担う子供たちを対象としたワークショップ。

1. 日産自動車株式会社
「日産 わくわくエコスクール」
会場 会議棟1F 102会議室
期間 11月23日(土)、24日(日)
2. 株式会社エコモ
「エコモ カーデザインパーク "クレイ"でカーデザイン体験」
会場 西4ホールSMC2013内キッズエリア
期間 11月23日(土)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)
3. パナソニック株式会社
「パナソニックキッズスクール ハイブリッドカー工作教室」
会場 パナソニックセンター東京、
SMART MOBILITY CITY 2013会場内
期間 11月23日(土)、24日(日)
4. マブチモーター株式会社
「マブチモーターで動く“木のクルマ”を作ろう！」
会場 西展示棟1F アトリウムステージ
期間 11月24日(日)、30日(土)、12月1日(日)